

成果説明書



【政策 5 : 生活基盤整備】

安心して快適に暮らせるまち

【施策 5-1】 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

【施策 5-2】 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

【施策 5-3】 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

【施策 5-4】 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
------	---------------

所 管	建設水道部
関 連	
関 連	

◆ミッション

人口減少、少子高齢化の進展による社会構造の変化に対応した多極ネットワーク型コンパクトシティによるまちづくりを推進し、市内全域の利便性を高めるとともに、昨今、多発する自然災害対策に積極的に取り組み、地域防災力の向上を図ることで将来にわたって市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進める。

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。

◎災害に強いまちづくりを進める。

◆方 針

◎公共交通ネットワークで結ばれた、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進める。
利便性の高い都市づくりのため、公共交通の利便性が高い小諸駅・市庁舎周辺地域において、生活に欠かせない都市機能施設の集約・誘導を、様々な主体との公民連携により取り組むとともに、市内のコミュニティ交通の改善や広域的な幹線交通の維持に努め、持続可能な交通ネットワークの構築を行う。
そして、「居心地のよい、ひらかれた」付加価値の高い都市づくりに向け、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる公共交通の利用促進に取り組む。

◎効率的で効果的な社会基盤の整備を進める。
市民の生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備・修繕は、将来にわたる持続可能性を考慮した長寿命化計画に沿って着実に進めるとともに、社会基盤の整備を行うことにより移住・定住の促進を図る。
公民共同企業体「㈱水みらい小諸」への一部業務委託による上水道事業は、民間事業者のノウハウを活用しつつ業務管理を厳格に行うことで、安全で良質な水の安定供給と事業の安定経営を維持する。

◎災害に強いまちづくりを進める。
災害発生時には、人命を保護することが最も優先されなければならない。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、限られた資源で効率的・効果的に強靱化を図るとともに、自身の安全を守る「自助」、地域のつながりを大切にしたい助け合い「共助」の意識を高めるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-1	多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

所 管	都市計画課
関 連	高齢福祉課
関 連	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

立地適正化計画に基づき、利便性が高く、多様性に富んだ活動や交流を促進する、新たな都市づくりへの転換に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備など、利便性の高い拠点形成を図るとともに、交通ネットワークの構築に向け、高齢者を中心に利用が広がっている「こもろ愛のりくん」の持続可能な運行への改善を行う必要がある。

そして、利便性に加え、“居心地のよい、ひらかれた”都市としての付加価値を高めるため、都市機能施設の有機的な連携と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用促進等に取り組む必要がある。

◆方針

目的

利便性の高い拠点形成のため、令和3年8月供用開始に向け、「複合型中心拠点誘導施設」の整備を着実に進めるとともに、民間投資を意識した、都市機能施設の誘導を公民連携により取り組む。また、交通ネットワークの構築に向け、市内の公共交通においては、「こもろ愛のりくん」の利便性と効率性の両立を図るよう、他の公共交通や市民主体の移動サービスとの連携を図りながら、運行改善を実施するとともに、広域的な公共交通においては、鉄道・バス等の幹線交通の維持のため、引き続き、運行事業者との連携・支援を行う。そして、“居心地のよい、ひらかれた”新しい都市づくりとしての付加価値を高めるため、公園や文化施設、駅施設などの公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策を包括的に実施する。

◆令和3年度重点方針と目標

- 複合型中心拠点誘導施設整備を着実に推進し完了させる。
- 「こもろ愛のりくん」を中心としたコミュニティ交通の運行改善等を行う。また、高齢者の外出機会の創出につながる利用浸透策を講じる。
- 鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者と連携・支援を推進する。
- 大手門公園最終工区の整備完了。大手門公園とあいおい公園の活用促進
- 都市機能施設や公共的空間などを基盤に、官民連携による中心拠点の形成を促進するための、人材集積の場の形成や将来像の策定活動を実践する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①公共交通の利便性が高い、小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まっている状態。
- ②交通ネットワークの構築に向け、「こもろ愛のりくん」が、利便性と効率性とを両立して運行している状態。
- ③小諸駅・市庁舎周辺地域における公共的空間の活用と、外出機会の創出につながる「こもろ愛のりくん」の利用浸透策の実施が包括的に行われ、“居心地のよい、ひらかれた”都市づくりへの転換が進んでいる状態。

◆実績

令和3年度実績

・複合型中心拠点誘導施設「こもテラス」は、7月末に工事が竣工し、8月から公共施設棟の供用が開始となった。テナントに入った商業施設は10月にオープンした。
 ・8月から、「こもろ愛のりくん」の運行時間を拡大し、「愛のりすみれ号」の全路線の運行を休止した。
 ・こもろ愛のりくんのコールセンター・乗継場所をこもテラスへ移したことで、高齢者福祉センターや商業施設(スーパーマーケット)がさらに利用しやすくなり高齢者の外出機会創出に繋がった。
 ・地域幹線交通であるしなの鉄道へは、新型車両更新費用や安全設備整備事業、車両全般検査費等の支援を、バス事業者へはバス運行に要する経費(運行欠損額)を関係自治体と共同して支援した。
 ・利用者ワークショップ等を通じて整備した大手門公園「まちタネ広場」は、9月に整備が完了し10月から利用を開始した。年度中10回ほどの活用があり、利用団体は17団体となった。あいおい公園は、フードステージやマルシェなど集客イベント等の定期的な活用が行われた。
 ・経済団体や観光地域づくり団体、運輸業者、民間企業で組織する「まちたねプロジェクト」を設置し、国際的な写真展や電動車両スマートカートによるまちなか周遊型の試験走行、まちタネ広場を活用したプレイスメイキング社会実験を行い、駅周辺の賑わいの創出や人流の活発化を図った。社会実験では駅周辺の将来像の検討やまちなか周遊の仕組みの検討を行った。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用割合						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、「こもろ愛のりくん」による利用割合が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度①】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	22.6%	計画	23.0	30.0	35.0	40.0	
		実績	21.6	22.4			
指標名	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数						
設定理由	小諸駅・市庁舎周辺地域において、様々な市民生活での利用が高まることにより、市営駐車場の駐車台数が増えるため。【小諸駅・市庁舎周辺地域の利用頻度②】						
算式						単位	台
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1,510	計画	1,510	2,000	3,000	3,000	
		実績	1,196	2,420			
指標名	こもろ愛のりくんの年間利用者数						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上すれば、利用者数が増加するため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立①】						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54,145	計画	55,000	56,000	58,000	60,000	
		実績	45,724	48,786			
指標名	こもろ愛のりくんの収支比率						
設定理由	こもろ愛のりくんの利便性が向上し、利用者数が増加するとともに、効率化を進めることにより、収支比率が改善され、利便性と効率性の両立が図られるため。【こもろ愛のりくんの利便性と効率性の両立②】						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	13.0	計画	14.0	20.0	22.0	25.0	
		実績	11.2	12.9			
◆目標の実現に向けた今後の取り組み						今後の方針	維持

○立地適正化計画の防災指針等計画修正業務に取り組む。
 ○小諸駅周辺の将来ビジョンの策定を進めるとともに中期的な整備計画の取りまとめを行う。
 ○まちなかの回遊性の向上と滞留促進に向けた仕掛けを試行を通じて実証する。
 ○官民連携によるまちなか再生の社会実験として、情報通信技術を導入した回遊の促進効果の検証やMaaS事業の実施による交通行動への影響検証に取り組む。
 ○公園施設長寿命化計画に基づき、乙女湖公園園路の舗装修繕工事を実施し、利便性の向上と安全を確保する。
 ○飯綱山公園官民連携魅力向上事業(P-PFI事業)と連携し、公園の魅力向上に繋がる施設の修繕工事を実施する。
 ○鉄道、バスなど地域幹線公共交通の維持に向け、運行事業者との連携を強化し、支援を推進する。
 ○「こもろ愛のりくん」について、引き続き、運行改善の検討と高齢者の外出機会の創出に繋がる利用浸透策を実施する。
 ○前年に引き続き、市内巡回線(千曲小巡回線等)試験運行を実施する。
 ○EVバス試験運行並びにスマートカートの試験運行を継続し、MaaSの試行を組み合わせたコミュニティ交通の利用浸透策の検討を進める。

◆個別計画

都市計画マスタープラン／立地適正化計画／地域公共交通網形成計画

◆特記事項

施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
都市計画総務費運営費		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更、指導 ・小諸市都市計画審議会の運営 ・都市計画マスタープランおよび立地適正化計画に基づく、事業の検討と調整 ・宅地造成等規制法に基づく、大規模盛土造成地等の宅地の安全確保の推進 ・都市再生特別措置法に基づく、低未利用地の流動化の推進 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	2,973 千円	5,184 千円	14,428 千円	
		地方債	0 千円	36 千円	4,404 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,041 千円	286 千円	243 千円	
一般財源		932 千円	4,862 千円	9,781 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	都市計画法に基づく開発行為(建築工事)の調整件数	回	計画	10	10	10
			実績	9	6	3
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為に係る前向きな調整を行った。 ・立地適正化計画に係る小諸駅前広場の活用の調査・検討を官民連携で行った。 ・大規模盛土造成地等宅地に係る第2次スクリーニング計画を策定した。 ・都市計画基礎調査を実施した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用・都市施設の見直しのための調査検討や開発行為の調整を行う。 ・都市計画マスタープランおよび立地適正化計画の更新に必要な調査検討を行う。 ・大規模盛土造成地等宅地に係る第2次スクリーニング計画の実施に向けた調整を行う。 						

施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中心拠点形成促進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・複合型中心拠点誘導施設整備による都市機能の集約 ・大手門公園最終工区(駐車場跡地)整備など中心拠点の公共空間の活用 ・民間の様々な主体と連携した拠点形成の促進 					
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	特定財源	国・県支出金	350,308 千円	1,230,715 千円	882,035 千円	
		地方債	195,106 千円	207,282 千円	75,123 千円	
		その他	134,000 千円	497,500 千円	371,600 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	7,992 千円	
一般財源		21,202 千円	525,933 千円	427,320 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	小諸駅・市庁舎周辺地域におけるこもろ愛のりくんの利用頻度	%	計画	22.6	23	30
			実績	22.6	21.6	22.4
	小諸駅・市庁舎周辺地域における市営駐車場の1日の駐車台数	台	計画	1,510	1,510	2,000
実績			1,510	1,196	2,420	
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・複合型中心拠点誘導施設(こもテラス)令和3年7月末竣工(公共施設棟8月オープン、商業施設棟10月オープン) ・大手門公園6工区(まちタネ広場)令和3年9月竣工 ・官民連携による公共空間活用のための社会実験の開始 						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・大手門公園とあいおい公園の活用 ・小諸駅周辺の中長期的な“将来像(エリアの未来ビジョン)”の策定と取りまとめを行う。 ・小諸駅、市庁舎周辺地域の回遊性向上と滞留性促進に向けた仕掛けをプロデュースし、新たな価値を生み出す。 						

施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
交通政策費運営費		継続	3				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)への負担金の交付 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備への負担金の交付 ・千曲バス佐久上田線への補助金の交付 ・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行 ・JR小海線各駅の附属施設(トイレ、駐車場・駐輪場)の維持管理 						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	40,000 千円	86,148 千円	65,634 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,100 千円	45,000 千円	18,700 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	38,900 千円	41,148 千円	46,934 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	小諸駅(しなの鉄道)の年間乗降客延べ人数		人	計画	1,190,000	1,190,000	1,190,000
				実績	1,062,271	765,509	857,606
	小諸駅(JR小海線)の年間乗降客延べ人数		人	計画	540,000	540,000	540,000
				実績	599,103	471,637	528,149
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会事業(小諸・軽井沢間の増便)を実施した。 ・しなの鉄道の鉄道軌道安全施設(車両、保安施設等)整備の支援を行った。 ・千曲バス佐久上田線への支援が終了した(R3年9月末に路線廃止)。 				R1～R9しなの鉄道車両更新(9年間 負担額合計 1億4千1百万円)			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
しなの鉄道を中心に広域公共交通機関へ適切な支援を行い、広域的な交通ネットワークの構築を図る。							
					今後の方針	維持	

施策 5-1 多極ネットワーク型コンパクトシティにより、利便性が高く、居心地のよい、ひらかれた都市づくりを進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
公共交通事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課	2:有				
事業概要	予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を基本とした市コミュニティ交通の運行						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	83,164 千円	76,741 千円	88,414 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	592 千円	536 千円	12,417 千円		
	一般財源	82,572 千円	76,205 千円	75,997 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	こもろ愛のりくんの年間利用者数		人	計画	54,145	55,000	56,000
				実績	54,145	45,724	48,786
	こもろ愛のりくんの収支比率		%	計画	13	14	20
				実績	13	11.2	12.9
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・こもろ愛のりくんの運行時間を拡大し、運行の改善を行った。 ・こもろ愛のりくん利用促進策を庁内関係課と連携して実施した。 ・MaaS社会実験となる「スマートカートegg」の試験運行を小諸駅周辺で行った。 ・市内巡回線試験運行を実施したほか、様々なニーズに柔軟に対応する「こもろ愛のりくん」の運行等について検討を行った。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> ・「こもろ愛のりくん」の適時・適切な運行改善の検討 ・「こもろ愛のりくん」の利用浸透策の検討・実施 ・「こもろ愛のりくん」の様々なニーズに柔軟に対応する試験運行の検討・実施 ・「市内巡回線」試験運行による、定時定路線運行の導入調査 ・社会実験型サービス「縁JOY! 小諸」と連動した新交通運行によるMaaS導入調査 ・EV車両導入による交通のクリーン化・低炭素化の推進 							
					今後の方針	拡充	

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小諸駅周辺駐車場管理事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課		1:無			
事業概要	・市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	5,498 千円	5,701 千円	5,804 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	5,498 千円	5,701 千円	5,804 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	駐車場施設の定期点検回数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	12
	緊急連絡機器の定期点検回数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	12
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な点検を行ない、概ね良好な状態に保つことが出来た。 ・利用台数の前年比は 駅前119% 大手門106%、収入額の前年比は 駅前123% 大手門93%となった。 ・市営小諸駅駐車場は、複合型中心拠点誘導施設建設工事に伴う工事関係者駐車場として、一部区間を4か月間貸出。 			東日本台風(H31)およびコロナ禍(R2~R3)の影響により、それ以前である平成30年度の利用水準には戻っていない。				
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な維持管理を行うため、直営でのパトロールを実施する。 ・駐車台数、収入額等のデータを取り分析する。 ・利用者への利便性の確保のため、駐車場施設の点検を徹底する。 ・時間帯によっては空きスペースが目立つため、利用方法や料金体系の見直しを検討する。 							

事務事業名				新規・継続	
都市計画総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費				都市計画課	
投入 指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		69,562 千円	64,898 千円	61,100 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	12,686 千円	1,778 千円	0 千円
一般財源		56,876 千円	63,120 千円	61,100 千円	
事務事業名				新規・継続	
県街路事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費				都市計画課	
投入 指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		426 千円	0 千円	0 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		426 千円	0 千円	0 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	建設課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

社会基盤である道路や橋梁、河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、事業要望による生活道路の整備や幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全など、計画的な整備ができていない状況にある。このような状況のなか、生活道路の整備は、新設や拡幅改良などは必要箇所の精査により道路整備を実施することとし、生活に密着した維持修繕として対応する必要がある。また、舗装改良や橋梁の修繕・耐震補強は、長寿命化修繕計画に基づき、より効果的に進める必要がある。

◆方針

目的

市民生活に欠くことのできない道路や橋梁等の整備において、生活道路の新設や拡幅改良は、評価項目に基づき、効果的で効果のある整備を計画的に行い、即効性のある維持修繕を主体的に行い道路の安全性を確保する。また、幹線道路の舗装改良は長寿命化修繕計画に基づき計画的に行う。橋梁修繕等の整備は、将来への持続を考えた長寿命化修繕計画に基づき、効果のある整備を行う。

◆令和3年度重点方針と目標

- 社会基盤整備として、長寿命化修繕計画に基づき、舗装改良及び橋梁の修繕を行う。
- 生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持・長寿命化と通行の安全性の確保を図る。
- 特定空家等の解消のため、所有者に対し指導を行い、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。
- 老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①生活道路の維持・修繕を行い、通行の安全性が確保された状態。
- ②橋梁及び横断歩道橋が、長寿命化修繕計画に基づき適正に維持管理されている状態。

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・舗装改良は、舗装長寿命化修繕計画に基づき、1,670mを実施した。 ・橋梁は、橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、68橋の点検を実施した。0114横断歩道橋と三岡橋の修繕工事を完成させた。 ・生活道路等の地域要望への対応は、213箇所、54%を実施した。 ・空家対策は、空き家所有者への支援として、無料相談会を開催した。 ・地域協働道ぶしんクリーン事業は、地域の方の活動により219件の実施となった。 ・国土地籍調査は、4地区の調査を行い、うち1地区の登記を完了させた。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修、維持修繕への対応割合						
設定理由	市民生活に密着した道路機能維持のため。						
算式	実施数／要望数					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	46	計画	50	50	50	50	
		実績	50	54			
指標名	生活道路の維持・補修に対する市民満足度						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式	市民意識調査					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	45.5	計画	47	48	49	50	
		実績	45.3	43.2			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ○社会基盤整備として、舗装長寿命化修繕計画、橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画等に基づき、施設の長寿命化、コストの縮減を目的に舗装改良及び橋梁等の修繕を実施する。 ○生活道路等の整備は、評価基準に基づいた優先順位により事業を実施する。また、維持補修により、生活道路の維持長寿命化と通行の安全性の確保を図る。 ○空家等の解消を図るため、所有者に対し粘り強く指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会等の支援を行う。 ○老朽化している市営住宅の集約化に向け取り組む。 ○地域住民との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。 ○国土地籍調査は、引き続き4地区の調査を行い、うち1地区の登記を完了させる。
--

◆個別計画

舗装長寿命化修繕計画／橋梁及び横断歩道橋長寿命化修繕計画／トンネル長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／空家等対策計画
--

◆特記事項

--

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
国土地籍調査事業		継続	4			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・1土木管理費・2国土調査費		建設課	1:無			
事業概要	地籍調査未実施地区18km ² において ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成					
	投入指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
特定財源	年度別事業費	52,020 千円	66,826 千円	57,078 千円		
	国・県支出金	25,609 千円	34,875 千円	28,395 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	26 千円	34 千円	31 千円		
	一般財源	26,385 千円	31,917 千円	28,652 千円		
活動指標	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	境界立会いする面積	km ²	計画	0.23	0.35	0.25
			実績	0.23	0.36	0.25
	登記完了する地区数	地区	計画	1	1	1
実績			1	1	1	
令和3年度 実績			特記事項			
・中央10区については、地籍調査の成果が令和3年11月2日付で認証となった。 ・中央11区、中央12区、中央13区については計画どおり進め、工期未までに年度事業を完了することができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の懸念により中央12区の地権者説明会が開催できず、土地所有者等の地籍地調査への理解に時間を要することがあった。県外在住土地所有者は現地に来られない方が多く、新しい調査方法(図面や写真による境界の確認方法)で行ったため、書類等の作成にかなりの時間がかかった。			平成27年度以降の境界立会い実施地区(中央4区以降)については、人口集中地区(DID)のため土地所有者の権利意識が強く、境界立会いに難航することが多くなっている。登記簿名義人が死去し、相続人を含む土地所有者が不明のため、筆界未定とせざるを得ない土地が増加している。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
1地区の事業完了まで3年かかることから、工程の異なる地区(中央12区～中央14区)を同時進行で実施することとなるため、各調査地区のスケジュールを常時共有し、遅滞することが無いよう効率的に進めていく。						

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
道路台帳補正業務費		継続	10			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費		建設課	1:無			
事業概要	・道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・すでに道路として利用されているが、所有権移転がなされていない認定道路敷地(未登記道路)が存在しており、その部分の寄附をいただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。					
	投入指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
特定財源	年度別事業費	15,016 千円	16,774 千円	15,708 千円		
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	15,016 千円	16,774 千円	15,708 千円		
活動指標	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	正確な道路台帳の補正	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
	未登記解消筆数	筆	計画	100	50	70
実績			38	58	66	
令和3年度 実績			特記事項			
道路台帳補漏れを把握し適正に補正を行った。 未登記道路敷地66筆を解消した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
・市道の新設、廃止、変更に伴う道路台帳の整備を適正に行う。 ・洗出し作業により把握している未登記道路敷地について計画的に処理を行う。 ・境界立会いや地籍調査業務等で新たに判明した未登記道路敷地について速やかに解消を図る。						

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市道維持補修事業		継続		5		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課		1:無		
事業概要	パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		43,934 千円	47,561 千円	48,859 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	5,646 千円	5,642 千円	5,469 千円	
一般財源		38,288 千円	41,919 千円	43,390 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	計画	68	68	68
			実績	65	65	65
	施設破損個所の30日以内での作業完了率	%	計画	90	90	90
			実績	92	93	91
令和3年度 実績			特記事項			
・市内65区での地域協働道ぶしんクリーン事業参加。 ・施設破損個所の30日以内での作業完了率は91%。			令和4年度に市単道路等整備事業内の維持補修工事費を統合した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
引き続き地域との協働による道路管理を目指すため、道ぶしんクリーン事業の取組み拡大を推進する。パトロールによる主体的対応と、地域の目を活用した施設管理を行う。					今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市道除融雪事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課		1:無		
事業概要	指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。					
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	年度別事業費		81,527 千円	72,105 千円	98,623 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		81,527 千円	72,105 千円	98,623 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	除融雪実施路線の延長	km	計画	216	216	216
			実績	216	216	216
	業務への協力業者数	事業所	計画	36	36	36
			実績	33	32	32
令和3年度 実績			特記事項			
32事業者と協力体制により実施した。			H28年度除雪担当業者24社・凍結防止剤散布担当業者10社(3社兼務) H29年度除雪担当業者30社・凍結防止剤散布担当業者10社(4社兼務) ■H31年度計画より、活動指標に「業務への協力業者数」を追加(協力業者数は業務量に影響し、これを確保することが業務の早期完了に繋がるから)			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
現状水準の維持並びに安定的・継続的な除融雪体制の確保に向け、契約方法及び経費等の検討を行う。					今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単道路等整備事業		継続	6				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有				
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び各長寿命化修繕計画等による事業の推進 ・市道の用地測量、詳細設計等の業務委託 ・市道の道路改良、舗装改良、側溝改良等の工事 ・市道の舗装修繕、側溝修繕等の工事 ・道路用地等の買収、工作物等の移転補償						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	216,934 千円	216,183 千円	244,496 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	45,000 千円	65,000 千円	71,100 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
			171,934 千円	151,183 千円	173,396 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	生活道路の新設、改良申請実施率(実施数/要望数)		%	計画	23	23	20
				実績	25	20	22
	生活道路の維持補修申請実施率(実施数/要望数)		%	計画		60	60
実績					70	89	
令和3年度 実績				特記事項			
148箇所、施工延長L=3,805.2mの道路維持補修工事、道路改良工事、道路改修工事を行った。 道路建設事業申請(改良)208箇所の申請要望に対して46箇所実施。 道路建設事業申請(維持補修)188箇所の申請要望に対して167箇所実施。 緊急自然災害防止対策事業(落石防止)市道0222号線 L=90.0m 公共施設等適正管理推進事業(舗装修繕工事)市道0114号線他3箇所 L=1324.6m				要望に対する事業が完了しないうちに新たな要望があるため要望件数が増えていく。そのため実施率が低下している。			
目標の実現に向けた今後の取り組み ・改良事業については、総合的に検討し効率的、計画的に早期に事業効果をあげられるように努める。 ・維持補修事業については、速やかな修繕工事の実施に努める。 ・各施設の長寿命化計画等に基づき修繕事業を進める持続可能な交通網の構築を行う。 ・事業要望があり、起債等の対象となる箇所は、適償性及び投資効果等を検討し財源確保に努める。 ・佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会、長野県及び佐久市等と連携し佐久平駅アクセス道路の整備構想の策定を進める。						今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単河川整備事業		継続	8				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	・準用河川N=10箇所、普通河川N=3箇所の未整備箇所及び老朽化した護岸等の河川整備工事 ・上記河川の維持管理工事						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	11,039 千円	24,196 千円	10,303 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	2,000 千円	20,000 千円	9,600 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
			9,039 千円	4,196 千円	703 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	安全な河川対策、施工延長		m	計画	50	50	20
				実績	46	73	70
				計画			
			実績				
令和3年度 実績				特記事項			
河川改修工事 L=70.2m (準)栃木川、(準)笹沢川 河川浚渫工事 L=151.0m (準)北川、(普)大石沢川							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・近年全国的に多発している豪雨災害による被害を少なくするため、国土強靱化を図り、引き続き河川改修及び浚渫工事を実施する。						今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市単交通安全通学路整備事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	1:無				
事業概要	区からの建設事業申請箇所及び通学路点検の要対策箇所等の事業の推進 ・歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事等						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	30,304 千円	25,706 千円	32,848 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	30,304 千円	25,706 千円	32,848 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	通学路合同点検に基づく実施率(実施数/要望数)		%	計画	60	60	60
				実績	49	71	78
				計画			
			実績				
令和3年度 実績					特記事項		
歩道設置工事 N=4件 令和2年度通学路点検箇所 N=28箇所のうち22箇所							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・引き続き定期的な通学路合同点検を実施し、通学路要対策箇所の歩道整備等の安全対策を進める。 ・未就学児の散歩コース等の点検実施結果に基づき児童等の歩行空間の交通安全対策を進める。							

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
道路メンテナンス事業(老朽化道路インフラ)		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課	2:有				
事業概要	・橋梁、横断歩道橋及びトンネル長寿命化修繕計画に基づく詳細設計、修繕工事 ・道路法施工規則に基づく道路施設の定期点検						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	108,887 千円	123,390 千円	137,333 千円		
		地方債	59,806 千円	66,819 千円	74,427 千円		
		その他	37,200 千円	45,200 千円	37,900 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	老朽化した橋梁、横断歩道橋及びトンネル修繕実施箇所数		箇所	計画	1	1	2
				実績	0	1	2
	定期点検要領に基づく定期点検の実施率		%	計画	20	40	60
実績				13	41	72	
令和3年度 実績					特記事項		
橋梁修繕 0114横断歩道橋、三岡橋 橋梁修繕設計 狐原橋、西原橋、新蛇掘橋、大杭橋 トンネル修繕設計 赤坂トンネル 橋梁点検数 N=68橋							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・各施設の長寿命化修繕計画に基づき、災害に強く、持続可能な道路網の安全性を確保し、施設の長寿命化並びに修繕等に係る費用の縮減を図る。							

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
防災・安全交付金事業(舗装修繕)		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	・舗装長寿命化修繕計画に基づいた、幹線道路の舗装修繕工事						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費	31,892 千円	9,023 千円	50,589 千円			
	特定財源 国・県支出金	15,752 千円	4,491 千円	25,250 千円			
	地方債	14,100 千円	4,000 千円	25,250 千円			
その他	0 千円	0 千円	0 千円				
一般財源	2,040 千円	532 千円	89 千円				
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	道路利用者の安心度の向上、実施箇所		箇所	計画	1	1	1
				実績	1	1	1
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
舗装改良工事 L=345.0m 市道0141号線(市 谷地原 千曲ビューライン)							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・防災・安全交付金(舗装修繕)の内示率が低いことから、公共施設適正化事業も活用しながら舗装長寿命化計画を進める。					今後の方針	維持	

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
防災・安全交付金事業(歩道整備)		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	・通学路点検により要対策箇所となった箇所の歩道整備工事						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費	27,920 千円	23,708 千円	50,520 千円			
	特定財源 国・県支出金	15,276 千円	13,017 千円	23,339 千円			
	地方債	11,200 千円	9,500 千円	17,100 千円			
その他	0 千円	0 千円	0 千円				
一般財源	1,444 千円	1,191 千円	10,081 千円				
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	通学路の安全空間確保の向上、歩道改良延長		m	計画	150	150	150
				実績	140	63	355
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
歩道改良工事 L=238.1m 市道0146号線(和田)							
歩道改良工事 L=117.0m 市道0146号線(市)							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・引き続き小学校等に通う児童が利用する通学路及び生活道路における交通事故を防止するため、安全・安心な歩行空間の整備を実施する。					今後の方針	維持	

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
都市公園維持管理事業		継続	12			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費		都市計画課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理 遊具点検 公園施設長寿命化計画の実施 					
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	年度別事業費		16,229 千円	53,809 千円	7,874 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	35,000 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,321 千円	3,492 千円	1,819 千円	
一般財源		13,908 千円	15,317 千円	6,055 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	職員による日常点検及び清掃	回	計画	492	492	480
			実績	492	480	480
	専門業者による遊具定期点検	箇所	計画	18	18	18
実績			17	18	18	
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 都市公園9箇所、緑地等31箇所(管理協定箇所除く)の公園管理業務を実施した。 都市公園7箇所、緑地11箇所の遊具点検を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 大手門公園、あいおい公園は、中心拠点形成促進事業予算 唐松公園は、未供用 加増公園の遊具撤去(R2)により、遊具点検の都市公園数は、8箇所⇒7箇所へ減 小諸公園の管理は、懐古園事務所 公園施設長寿命化対策としての予防保全の本格化が必要 			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 都市公園9箇所(小諸公園、唐松公園、大手門公園、あいおい公園を除く)、緑地31箇所(管理協定緑地を除く)の適切な維持管理業務を実施する。 都市公園6箇所、緑地11箇所の遊具について、職員による遊具点検を1回/月実施し、専門業者による遊具点検を1回/年実施する。 公園施設長寿命化計画の見直しを実施し、予防保全を計画的に実施していく。 官民連携による都市公園の魅力向上を推進するとともに、草刈り等の維持管理の効率化を検討する。 					今後の方針	拡充

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
住宅管理費運営費		継続	-			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・8土木費・4住宅費・1住宅管理費		建設課	1:無			
事業概要	<p>【運営費】 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅(768戸)を供給する。</p>					
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	年度別事業費		52,115 千円	53,219 千円	58,717 千円	
	特定財源	国・県支出金	4,456 千円	4,297 千円	3,107 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	47,659 千円	48,922 千円	55,610 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			計画			
			実績			
			計画			
実績						
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 施設の破損等に対し、迅速で確実な補修を行った。 計画修繕 火災感知器改修工事、台所レンジフード改修工事を実施した。 囃団地の外壁及び屋根の改修工事を行った。 市営住宅(旧中松井・緑ヶ丘)移転集約計画の方針作成。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 小諸市公営住宅等長寿命化変更計画に基づき維持管理をしていく。 老朽化が進む緑ヶ丘、旧中松井団地の移転集約計画の検討を早急に実施する。 					今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
住宅耐震化事業		継続	11				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・4住宅費・2住宅政策費		建設課	1:無				
事業概要	市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。						
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	年度別事業費		4,149 千円	850 千円	970 千円		
	特定財源	国・県支出金	2,667 千円	487 千円	1,471 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,482 千円	363 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	精密耐震診断件数		団体	計画	20	20	20
				実績	3	10	8
	耐震改修事業補助件数		団体	計画	4	4	4
				実績	4	0	0
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 精密耐震診断件数 8件 耐震改修補助件数 0件 			建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律(耐震改修促進法)が平成25年11月25日に施行され、「全ての住宅・建築物に対して耐震診断・耐震改修を努力義務化」、「大規模な特定建築物、地震対策上特に重要な建築物に対して、耐震診断を義務化、結果公表」等、耐震化促進のための規制が強化された。				
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 広報もろや市ホームページ等により積極的に事業の周知を図る。 過去に耐震診断を実施した所有者に対し、耐震改修を案内するダイレクトメールを送付する。 						今後の方針	維持

施策 5-2 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
特定空家対策事業		継続	9				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・4住宅費・3空家対策費		建設課	1:無				
事業概要	空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。						
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	年度別事業費		9,317 千円	112 千円	76 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		9,317 千円	112 千円	76 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	空家相談会		回	計画	4	4	4
				実績	1	4	3
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> 特定空家等の解消を図るため、法に基づき行政指導を行った。 空家等所有者に対し、問題解決に向けた支援を行った。 空家相談会を3回実施した。 コロナ感染症拡大の為、計画した空家セミナーの開催が中止となった。 特定空家の除去が1件実施になった。 			小諸市空家等対策計画の見直しを実施した。(令和3年度から令和9年度)				
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 状態の悪化、対応済み等、空家のデータの更新を随時行う。 特定空家等の所有者に対し行政指導を行う。 無料相談会等を適宜開催し、所有者の責任による空家の適正な管理を促す。 空家セミナーの開催。 						今後の方針	維持

事務事業名				新規・継続	
土木総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		9,719 千円	8,916 千円	6,650 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	1,647 千円	1,260 千円	274 千円
一般財源		8,072 千円	7,656 千円	6,376 千円	
事務事業名				新規・継続	
土木総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		137,020 千円	126,562 千円	125,530 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		137,020 千円	126,562 千円	125,530 千円	
事務事業名				新規・継続	
単独公共土木施設災害復旧事業				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		110,136 千円	252,855 千円	33,323 千円
	特定財源	国・県支出金	21,835 千円	145,702 千円	0 千円
		地方債	69,800 千円	76,300 千円	9,100 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		18,501 千円	30,853 千円	24,223 千円	
事務事業名				新規・継続	
事務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・1事務費・1事務費・1事務費				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		6,014 千円	6,171 千円	107,522 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		6,014 千円	6,171 千円	107,522 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・1元金				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		2,270 千円	1,303 千円	324 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		2,270 千円	1,303 千円	324 千円	
事務事業名				新規・継続	
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・2利子				建設課	
投入指標			令和元年度	令和2年度	令和3年度
	年度別事業費		110 千円	40 千円	6 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		110 千円	40 千円	6 千円	

事務事業名			新規・継続		
予備費			継続		
会計・款・項・目			所 管 課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・3予備費・1予備費・1予備費			建設課		
投入 指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	0 千円	0 千円	0 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は湧水と深井戸のみで、水量・水質ともに安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進み更新が必要である。加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、対策を図る必要がある。

水源地や配水池など施設数が多く複雑化しており、維持管理における技術の継承など人材育成も図る必要があったため、公民共同企業体を設立し、指定管理者制度により一部の業務を委託した。

今後、人口減少問題により料金収入の減少も見込まれ、施設の更新や浄化施設の新設とその財源確保が大きな課題となっている。

◆方針

目的
小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。
公民共同企業体「株水みらい小諸」へ指定管理制度により委託した一部業務を、厳格に業務管理を行うことで、水道水の安定供給と事業の継続的な安定経営を図るとともに使用者に適切な情報提供を行い、水道事業の理解度を深める。

◆令和3年度重点方針と目標

①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画の実行
②小諸市水道施設等の指定管理者である公民共同企業体「株水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、厳格な業務管理(モニタリング)の実施
③使用者に適切な情報提供の実施

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①小諸市上水道事業基本計画に基づく実施計画により計画的に施設の整備を行い、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェックや業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。
②事業主体として小諸市水道施設等の指定管理者への厳格な業務管理(モニタリング)を行い、効率的な施設の維持管理が図れる状態。
③適切な情報提供により、水道使用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。

◆実績

令和3年度実績

- ①小諸市水道事業実施計画に基づき、配水管の更新L=1,131mを行った。野馬取水源の浄水施設の詳細設計を実施、次年度の工事着手に向けた準備を整えた。丸山配水池の余剰水有効利用に向けた送配水管更新業務(管路DB方式)L=867mを実施した。施設台帳の電子化を含むマッピングシステムの再構築を実施、信頼性、汎用性の高いシステムとし、より適正な施設管理と効率的な業務実施に対応できるものとした。
- ②小諸市水道施設等の指定管理者について、業務管理(モニタリング)を毎月実施し、適正な業務の運営状況、収納状況の確認を行った。
- ③毎月の水質検査結果、指定管理者の業務管理(モニタリング)結果について、ホームページへ掲載し、安全、安心な水の供給についての情報提供を行った。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	安定した水道水の供給に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、安定した水道水の供給ができていく割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	83.5	計画	84	84.5	85	85	
		実績	85.8	85.4			
指標名	総収支比率						
設定理由	100以上が望ましく、計画的な経営ができていくか分かるから。						
算式	総収支比率(総収益/総費用)×100					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	117.8	計画	116	104	106	105	
		実績	106.9	106.6			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ①引き続き、小諸市上水道事業基本計画に基づく令和5年度までの実施計画に沿って、施設の整備更新等を実施し、持続可能な水道事業の基盤構築を進める。
- ②令和6年度からの実施計画策定とあわせ、次の指定管理基本協定締結に向けた委託業務の内容、水準等について、指定管理者と検討、協議を進める。

◆個別計画

地域防災計画/上水道事業基本計画/水道ビジョン/上水道事業実施計画

◆特記事項

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小諸市水道事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
水道事業会計		上水道課	1:無			
事業概要	小諸市水道事業					
	投入指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		年度別事業費	1,639,848 千円	1,396,854 千円	1,455,501 千円	
		国・県支出金	84,086 千円	0 千円	6,424 千円	
		地方債	428,100 千円	155,500 千円	209,200 千円	
その他		0 千円	4,723 千円	26,584 千円		
一般財源	1,127,662 千円	1,236,631 千円	1,213,293 千円			
活動指標	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	経常収支比率	%	計画	106	116	104
			実績	117.8	106.9	106.6
	料金回収率	%	計画	98	98	98
			実績	97.4	98.1	103.8
令和3年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 野馬取水源の保全及び安全性強化として、スレッド式ろ過装置詳細設計業務委託を発注。 丸山配水池の余剰水有効活用として、送配水管更新業務(管路DB方式)L=867mを施工。 毎月モニタリングの実施。 			地方公営企業法施行規則等の一部改正に伴い、決算付属書類である事業報告書に経営の実態を端的に示す「経営指標に関する事項」の項目が追加され、令和3年度決算から適用。これにより決算書と統一するため令和3年度の活動指標を変更した。(総収支比率を経常収支比率に、料金収納率を料金回収率に変更)			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	拡充
<ul style="list-style-type: none"> 小諸市上水道事業実施計画に基づいた施設の更新、設備整備を行うと共に、公民連携により水道事業の基盤強化を図る。 公民共同企業体(株)水みらい小諸の水道使用者への定着をめざすと共に、業務状況についてモニタリングを厳格に行い、効率的な事業運営を図る。 						

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	危機管理課
関 連	生活環境課
関 連	消防課
関 連	市民課
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

災害による被害を減らすため、市内68区に自主防災組織の設立を目指しているが、「共助」のための自主防災組織については、未だ組織化されていない行政区がある。今後発生しうる大規模自然災害に備えて、被害を最小限にとどめる「自助・共助」を中心とした「減災」の取り組みが必要である。また、災害時の防災、減災のため、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団と自主防災組織との連携を強化していく必要がある。

高齢社会となるなかで、高齢者の交通事故が増えている。交通事故を減らす取り組みと併せて、高齢者に対する啓発活動を強化していく必要がある。

防犯については、犯罪の未然防止の役割を果たしている防犯カメラの設置や運用、LED防犯灯への切替や、耐用年数が10年と言われているLED灯の交換時期の検討が必要である。

◆方針

目的
<p>地域全体で安全安心なまちをつくるため、関係機関との連携強化と住民意識の高揚を図り、すべての市民が安全で安心して生活できる住みよい地域社会の実現を進める。</p> <p>あらゆる災害に対応するため、佐久広域連合消防本部が行う消防・救助・救急業務を支援するとともに、消防団活動の充実を図る。</p> <p>交通事故の発生件数を減らすため、関係機関・関係団体と連携し、啓発活動を推進していく。</p>

◆令和3年度重点方針と目標

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練が自主的に行われるよう、住民の方々の認識の状況を確認しながら、様々な避難先の確保を促す周知・広報を行い、とるべき行動の効果的な理解の促進に努める。

交通事故の被害に逢いやすい子供や高齢者に向けて、関係機関と連携し交通安全教室を開催し、交通事故の予防を図る。

消防団や自主防災組織及び民間事業所も含め災害対応を行い、更なる連携の強化及び協力体制の構築を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①すべての地域で様々な手段により防災行政情報を入手でき、市民が避難方法や避難場所等を熟知して、防災・防犯意識が高まっている状態。</p> <p>②交通事故発生件数が減少し、かつ、交通死亡事故がゼロになり、安全で安心に暮らせる状態。</p> <p>③災害時に備え、地域において、自助・共助の理念のもと地域防災力の向上に積極的に取り組んでいる状態。</p>

◆実績

令和3年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな避難情報のチラシを作成し全戸配布により市民周知を図った。また、新たな情報伝達手段として「小諸市公式LINE」を導入した。 ・コロナ禍で自主防災組織等と連携する事業に制限はあったが、感染警戒レベルに応じて開催方法を判断し、避難所開設訓練や各種研修会を実施した。 ・関係機関等と連携し、交通安全啓発活動を実施した。 ・消防団活動については、災害対応以外の訓練・点検等、感染防止の観点から自粛せざるを得ない状況であったが、感染予防対策を行った上で一部訓練を実施した。 	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	防災への取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、防災施策が住民のニーズに沿っている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	71	計画	72	73	74	75	
		実績	74.9	76.6			
指標名	交通事故死者数						
設定理由	死亡事故がなくなれば、交通安全に関する啓発が適切に行われ、市民の安全が確保されていると考えられるから。						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1	計画	0	0	0	0	
		実績	2	2			
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> ・防災防犯に特化した情報を配信する「小諸市公式LINE」について、自主防災組織による防災訓練、出前講座、高齢者のスマートフォン教室等のあらゆる機会を通じて登録者を増やす取り組みを進める。 ・交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係機関と連携し、交通安全啓発活動を実施する。 ・諸事情により活動をいただけない団員の把握・整理と併せて、幅広い住民の入団促進のための働きかけを自治会・企業と連携し進めていくとともに、国の示す基準に沿った条例改正及び予算措置について、関係課と協議し進めていく。
--

◆個別計画

地域防災計画／国土強靱化地域計画／交通安全基本計画

◆特記事項

--

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
防犯事業		継続	3				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区等の要望に基づく防犯灯のLED灯への切替え及び電気料への補助 ・区等による安全で安心なまちづくり事業(防犯活動等)に係る経費への支援 ・防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		20,570 千円	19,363 千円	21,131 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		20,570 千円	19,363 千円	21,131 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	100W以上の既設防犯灯のLED灯への切替数		基	計画	—	—	20
				実績	—	—	19
	安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発手段の数		件	計画	—	—	4
実績				—	—	4	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・各区からの防犯灯設置要望に基づき、白熱灯、蛍光灯等からLED灯への切替え工事を94灯実施した。 ・防犯灯及び街路灯合計で4,979灯の電気料補助金を各区へ交付した。 ・区自主防災組織等の申請に基づき、安全で安心なまちづくり事業補助金を交付した。(大久保区、御幸町区、東山区、中村区、乙女区 全5件) 			活動指標(アウトプット)について、 ・「既存防犯灯に占めるLED防犯灯の割合」を、消費電力の高いものを一定以上切替えていくために、令和3年度から「100W以上の既設防犯灯のLED灯への切替数」に変更 ・「設置基準に基づく防犯灯の設置率」は、令和3年度からセーフコミュニティ推進事業を廃止して統合された安全・安心の取組みに係る「安全・安心の確保に係る事項や取組みの啓発手段の数」に変更				
目標の実現に向けた今後の取り組み ・市内防犯灯の一斉LED化事業を実施し、省エネによる温室効果ガスの削減、電気料、修繕費用の削減による市の財政負担の軽減、維持管理の一元化による事務の効率化を図る。 ・安全安心なまちづくりに係る取組み等の啓発方法について、関係機関等と検討を行う。 ・安全で安心なまちづくり事業補助金の活用について、区等への周知を行う。					今後の方針	維持	

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
防災対策費運営費		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画、業務継続計画の見直し ・総合防災訓練の年1回の実施 ・全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、防災マップ作成・更新の推進 ・防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進 ・防災対策用備蓄品の備蓄推進 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		5,454 千円	8,110 千円	8,941 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	770 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	5 千円	1,221 千円	0 千円		
一般財源		5,449 千円	6,119 千円	8,941 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	総合防災訓練の実施		回	計画	1	1	1
				実績	1	0	0
	自主防災組織を設立した区の数		区	計画	62	63	63
実績				61	61	61	
令和3年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、総合防災訓練は中止とし、代替として、災害対策本部員を対象に、災害時の避難情報発令判断研修を実施した。また、3日間に分けて職員向け避難所開設訓練を実施した。 ・防災対策用品(食料、資材等)について、備蓄計画に基づく他、新型コロナウイルス対策用品等の備蓄も実施した。 ・感染症予防対策用備蓄倉庫に貯蔵用の棚を整備した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み 自主防災組織の設立支援の要望をいただいた区への学習会等の支援を行う。 各区の自主防災組織主導の「より実効性のある訓練」となるよう、重点的に実施すべき訓練に係る情報提供等を行う。					今後の方針	維持	

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
防災情報基盤整備・運用事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施 ・市民への防災情報伝達手段の多重化 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		10,016 千円	10,173 千円	11,931 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	685 千円	616 千円	610 千円		
一般財源		9,331 千円	9,557 千円	11,321 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	防災情報関連機器の点検実施		人	計画	実施	実施	実施
				実績	実施	実施	実施
	アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備		人	計画	選定	計画	実施
実績				情報収集	計画	実施	
令和3年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報伝達設備の点検保守管理を行い、防災情報を的確に市民へ伝達した。 ・アナログ放送終了に伴う代替手段として、LINEを導入した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
計画に基づき防災情報伝達設備の定期的な点検及び保守点検を行う。 アナログ放送終了に伴う代替手段として導入したLINEの普及促進を図る。							

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
交通安全対策事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動の実施 ・小諸市交通安全運動推進協議会の運営 ・小諸交通安全協会への負担金の交付 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		1,854 千円	1,764 千円	1,400 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,854 千円	1,764 千円	1,400 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	小諸市における年間交通事故死者数		人	計画	0	0	0
				実績	1	2	2
				計画			
実績							
令和3年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・関係団等と協力して交通安全運動を実施した。 ・高齢者を対象とした交通安全教室(サボカー体験、シニアカー使用方法等)を実施した。 ・小諸東中学校校庭にて、スクエアード・ストレイト教育方法(事故再現)による自転車の交通安全教室を実施した。 ・第11次交通安全計画を策定した。 							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係団体と連携し交通安全啓発活動を実施する。 特に事故の被害に遭いやすい子どもや高齢者等に向けて、対象者に応じた交通安全教室を開催する。							

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
県民交通災害共済事務		継続		9			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県民交通災害共済への市民の加入促進 ・交通事故被害者への見舞金の支給 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		2,166 千円		2,116 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		1,769 千円		1,714 千円	
一般財源		397 千円		337 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県民交通災害共済加入率		%	計画	66	66	
				実績	64	62	
				計画			
実績							
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育園をととして、中学生以下の子どもへの資料の配布をはじめ、区への回覧チラシ配布などを行い加入促進を行った。 ・交通事故被害者の立ち直りを支援するため見舞金の支払いを行った。 							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>交通事故被害者の立ち直りを支援するため、見舞金の支払いを行う。 加入促進のため、共済事業ならではの利点などをふまえた制度の周知を行う。</p>				今後の方針	維持		

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
市民相談事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民法律相談の実施 ・市民相談の実施 (無料法律相談、職員による相談) 						
投入指標	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	年度別事業費		1,013 千円		734 千円		
	特定財源	国・県支出金		0 千円		0 千円	
		地方債		0 千円		0 千円	
		その他		0 千円		0 千円	
一般財源		1,013 千円		734 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	市民法律相談利用率		%	計画	90	90	
				実績	68	66	
	市民相談等開催について広報こもろ掲載月数		団体	計画	12	12	
実績				12	12		
令和3年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士による無料法律相談を実施し、広く市民が利用した。 ・市民が抱える各種問題の解決のため、関係課、各種相談機関、各団体が実施している相談会等へつないだ。 ・庁内関係課と連携した相談業務を実施した。 							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>専門的で複雑な問題解決を図るため、無料法律相談を開催する。 行政監視行政センター及び司法書士会等が主催する各種相談会について、広報紙等で案内を行う。 市民からの相談に対し、関係課及び専門相談機関のへつなく。</p>				今後の方針	維持		

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
消費者行政事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無				
事業概要	消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	2,188 千円	1,412 千円	2,056 千円		
		地方債	1,381 千円	783 千円	1,018 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		807 千円	629 千円	1,038 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	相談員相談日数		日	計画	160	160	160
				実績	149	149	141
	被害防止等啓発件数		件	計画	25	25	25
				実績	22	43	50
令和3年度 実績			特記事項				
<p>・悪質な商法に関する相談について、あっせんにより高額契約を解除につなげた。／・消費トラブルに関する情報を、SNS等によりタイムリーに市民へ発信した。／・市内高等学校と連携し、新成人とその保護者を対象として、啓発活動を実施した。／・健康達人区らぶにおいて、センター周知と通話録音装置の貸し出しの周知活動を実施した。障がい者施設へ消費トラブルに関する見守りや、センターの活用の啓発を行った。</p>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<p>・多発する悪質商法に対し、広報紙・SNS等を活用した注意喚起を行う。 ・高齢者の被害防止のため、通話録音装置の普及や被害予防の啓発、地域との連携を行う。 ・複雑化、巧妙化する悪質商法等の相談に対応するため、相談員及び職員ともに専門機関が開催する研修を受講する。 ・相談者の問題を解消するため、他機関と連携し対応を行う。</p>							

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
佐久広域連合負担金		継続	-				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・9消防費・1消防費・1常備消防費		消防課	1:無				
事業概要	佐久広域連合規約により消防施設の設置及び管理に関する事務について、関係市町村が負担割合により負担する市町村分担金。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	337,023 千円	341,931 千円	334,895 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	4,689 千円	4,469 千円	4,323 千円		
一般財源		332,334 千円	337,462 千円	330,572 千円			
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計画			
				実績			
				計画			
				実績			
令和3年度 実績			特記事項				
<p>①大型台風及び線状降水帯に対応する水防訓練、緊急援助隊に対する後方支援部隊訓練、常時火災防衛訓練等を実施。 ②消防学校各種特殊専科教育への入校、高規格救急車の更新。 ③各区や各事業所への消防訓練出向、救命講習会の開催。</p>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<p>安全で安心な暮らしを実現する体制の充実に向け消防力強化を図るため、消防車両や消防資機材の更新を消防本部と協議し進めていく。 指揮隊を含めた広域連携の更なる強化を図り、消防職員の安全確保及び円滑かつ効率的な消防活動に繋げる。 市や消防団等の関係機関はもちろん、各種団体や民間事業所も含め、より高度な各種災害対応訓練を行い、更なる連携強化及び協力体制の構築を進めていく。</p>							

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
非常備消防費運営費		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・9消防費・1消防費・2非常備消防費		消防課	1:無				
事業概要	消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関、小諸市消防団の運営・管理に関する事業。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	66,507 千円	76,212 千円	66,988 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	6,585 千円	19,630 千円	15,488 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	消防団員数		人	計画	850	850	850
				実績	845	840	776
				計画			
			実績				
令和3年度 実績			特記事項				
①消防団員数の適正化を図り、団員の処遇改善に取り組み、魅力ある消防団となることにより新たな団員の獲得を目指し、消防団活動の実態把握を実施した。 ②消防ふれあいフェスティバルを通して、消防団活動を市民にアピールした。 ③消防団臨時研修会で、より実戦的な火災防御訓練及び資機材取り扱いの習熟度を高めることができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
地域防災力確保の観点から、消防団員の確保は最重要課題ととらえ、県と協力しながらメディアを通じた広報活動の実施等、様々な取り組みを行っていく。また、団独自でも現状の問題点や課題を洗い出すとともに団員確保施策について検討し入団促進につなげていく。 市民に対して地域の消防防災体制や行方不明者捜索活動に対応できる、動員力のある消防団の必要性や活動等を広報し、理解を深めていただく。災害時の消防団の対応力を強化するため、国で示す装備品について充実を図っていく。							

施策 5-4 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
消防施設費運営費		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課	1:無				
事業概要	消防組織法に基づく小諸市消防団の施設及び各区の消防施設整備に関する事業。						
投入指標	年度別事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	特定財源	国・県支出金	11,445 千円	30,659 千円	8,186 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	8,000 千円	1,907 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	5,800 千円		
活動指標	指標名		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	小型動力消防ポンプ更新数		台	計画	2	1	1
				実績	2	1	1
	小型動力ポンプ積載車更新数		台	計画	1	0	1
実績				1	0	1	
令和3年度 実績			特記事項				
①第6分団3部へ小型動力ポンプ更新購入。 ②第2分団4部へ小型動力ポンプ積載車更新購入。 ③火災活動防火衣20着購入 ④消防施設補助金交付実績1,723,000円							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
消防団車両について、現在導入されている車種は、一部を除き安全面において改善する必要がある。今後の更新車両について、安全面に配慮し更新計画に基づいて配備していく。 地域防災力の充実・確保の観点から、各区の消火栓施設整備・更新計画に補助金の交付を今後も行っていく。							